

# 橋本市都市計画マスタープラン策定委員会 橋本市の「街、市街地、土地利用」について考える 2021/12/24



# 新市まちづくり計画



平成16年12月  
橋本市・高野口町合併協議会

街の実態を知り→  
街を育てる+都市計画を育てる

「都市計画」、日頃の話題になる  
ことは、残念ながら僅かであろう。

「都市計画」とは何か  
「都市計画を育てる」とは？

今回、一連のタウンミーティング  
では、「都市計画とは何か、都市  
計画はどのように働くのか？」。  
話し合って行きたい。

都市計画において最も重要な仕事は、

総合的な都市整備（土地利用の実現、都市施設、都市基盤施設の整備）

さらに、都市整備を通して、市民生活の質を守り、高め、市民が「良い人生を築くこと」を支えること。さらに、対内外に都市の価値を高め、都市への投資を誘導・促進し、都市の経済力を高め、持続可能な都市・社会を構築する。

# 都市計画において基本的に重要な考え

- 1) 適度な人口密度を維持できる住宅地の整備、土地利用ルールづくり。土地利用ルールは、都市づくりの考え方、都市の価値づくり、都市整備への共感づくり、対内外に向けての情報発信
- 2) 既存の自然資源・地形・既存建物を最大限活用
- 3) 中心部に商業施設、文化施設と創業、雇用を織り込む

# 今回、都市計画マスタープラン策定の視点

## (1)都市づくり基礎エネルギーづくり

### 共感づくり

## (2)都市構造的テーマ

### 1)中心部の創造的整備

場所、核の内容。施設(行政施設、文化施設、商業施設、集合住宅)、道路・歩道・街路樹、小公園)

### 2)ハザードマップ浸水想定地区の土地利用の転換

3)現在・将来の交通(自動車社会の進展と公共交通・コミュニティバス・デマンドタクシー、食材の配達)

4)高齢者層に向けての都市・街づくり(デジタル社会への参加、スマホの修練、食材・日常生活用品の注文・配達)

5)農地・自然環境と市街地の良好なつながりの創造・維持

6)紀の川の河川敷緑地の再整備と活用

### (3)地区骨格的テーマ

- 1)ニュータウンの各地区、小中規模の住宅地の活性化・質的向上(地区内商業跡地の活用)
- 2)集落地区の活性化・質的向上
- 3)高野口町の土地利用転換地域(向島、小田)の活性化・質的向上
- 4)小田井用水の歴史的施設、「せせらぎ公園」の活用
- 5)…

### (4)界隈的テーマ(身の回りのテーマ)

- 1)身近な良く目にする処の質的向上
- 2)…

# 1. 橋本市総合政策部政策企画課2020年8月『橋本市まちづくりのためのアンケート調査報告書』

対象 18歳以上市在住者2000人、調査期間7/10-7/30、回収率29.2%

回答者の属性(60歳代23.5%、70歳代以上21.1%、60歳代以上44.6%)

(橋本地区13.2%、紀見北地区17.5%、紀見地区19.3%、高野口地区18.5%)

【満足度の高い項目】「消防・救急」29.3%、「健康・医療」26.4%、「循環型社会」25.5%、「交通安全・防犯」23.8%、「出産・子育て環境」22.3%

【不満足度の高い項目】「雇用、就労、労働環境」37.2%、「地域公共交通」36.6%、「商工業」36.0%、「上下水道」31.5%、「観光」30.8%

## 自由記述

○市長が前面に出て情報を発信すべき。○町の中心がさびれ過ぎていて、それを見て判断して橋本に魅力を感じない人はいると思う。○高齢者や子育て世帯向けの政策ばかり○子どもも大人たちも集える図書館。便利なところに公園などほしい。○橋本駅周辺の再開発、市街化区域と市街化調整区域を定め無秩序な町作りをやめ、エリアの整備、人を呼ぶ政策。○紀の川の河川敷を利用して、春、秋の活動しやすい季節に、川と山の景色を見ながら、地元の農作物や手作り工芸品をアピール、楽しむ企画。○真剣に未来に向けてまちづくりするのか疑問を感じる。橋本駅前には約40年間放置、市外の人々は口を揃え、これが駅前とびっくりしている??それを知らんぷりする市。

2. 橋本市総合政策部政策企画課2020年8月『橋本市まちづくりのためのアンケート調査報告書』 中高生  
(「男性」46.7%「女性」44.1% 居住地「橋本地区」18.6%「和歌山県内」17.4%「高野口地区」11.5%)

問14. あなたは、橋本市はどんなまちになってほしいですか。また、どんなまちにしたいですか。夢や考え、アイデアがあれば、自由意見・基本施策毎に集計すると、

「商業をまちづくりとともに活性化させる」が196件と最も多く、次いで「道路・交通体系、情報基盤を整備する」が95件、「秩序ある土地利用を推進する」25件。

問5「若い人達が橋本市に住み続けられるために必要なこと」(複数回答可)N=512

①「遊びや買物など若者が気楽に集まれる場がある」  
55.9%

②「若者が働きたくなる様々な職場がある」31.1%

③「公共交通の便利さ」22.1%

④「若者が住み易い住環境が整っている」19.1%

⑤「通勤や通学などの交通環境が充実している」  
19.1%

⑥「子育て環境が充実している」12.5%

⑦「文化・スポーツ施設が充実している」10.9%

⑧「学校教育が充実している」4.7%⑨「その他」2.0%

## ○米社会学者ダニエル・ベル

「中央主権的国家でも市場主義社会でもなく、市民社会とその文化が強い発言力を持つ社会が「もっとも質がよく、もっとも自由である」よりよい社会のためには、市民社会と強固な文化的連続性について、はっきりした感覚を持つ必要がある。そうした文化の連続性の中でこそ、人びとの「相互信頼」や「地域的な自主の感覚」は培われる。」

○多感な若者(Z世代、1996年から2015年の間に生まれた世代)に対して「価値、文化」を感じられる都市づくり

人は幼少期や青年期に受けた影響により、その後の消費傾向や価値観が決まっていく、と言われている。



Kaiwai Support Center  
街づくり支援センター

最も重要なことは、将来へ明確なビジョンを持ち、実現に向けて持続的に、着実に取り組むことである！

